



Vol.6
2020年度

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06) 6946-5390
FAX (06) 6946-5391



府議会定例会の本会議で 一般質問を行いました。

大阪維新の会 大阪府議会議員

たけひこ

とみた 武彦の府政報告

令和2年12月2日、9月定例会の後半議会における本会議で一般質問に立ち、府政の諸課題や地域の発展について、吉村知事及び関係理事者と議論を交わしました。



学校給食費の無償化

Q 富田 武彦

国や市町村と連携しながら給食費の無償化を進めていくことが必要だと考えるが、知事の見解を伺う。

A 知 事

義務教育における学校給食は、児童及び生徒の心身の健全な発達及び食育の観点から重要。憲法26条の趣旨を踏まえ、給食費も無償とすることが国家の本来あるべき姿だと考える。

府庁のIT人材採用

Q 富田 武彦

府庁の社会人経験者向け採用試験におけるIT人材確保の手法について伺う。

A 総務部長

民間企業と連携した取組みを今後も進めるとともに、行政のDX等を進める府職員全体の情報リテラシーの向上や人材確保を図るため、より多くの情報分野に強みを持つ社会人経験者に大阪府を志望いただけるような効果的な手法について検討を進めていく。

コロナ禍における「中の見える化」の取組み

Q 富田 武彦

国において改訂・強化された業種別ガイドラインを、今後事業者が遵守し、現場で確実に実践していただくための取組みについて伺う。

A 危機管理監

改訂・強化された業種別ガイドラインについては、府ホームページやSNSなど様々な媒体で情報発信するとともに、業界団体を通じて周知を図っていく。また、現地調査においても改訂内容を踏まえたチェックを実施し、新たなガイドラインの実効性確保に努めていく。

要 望 富田 武彦

大阪モデルの運用や通天閣、太陽の塔のライトアップなど「外の見える化」は大いに進められてきたが、これからは明確な基準を設け、「中の見える化」を図ることが大変重要。その方策として、空間のCO2濃度を計測して過密度を見える化する取組みが今後不可欠。飲食店・イベントなど人々が集まる場所において、「中の見える化」をスピード感を持って進めていただくよう、ウィズコロナの一助として知事に要望する。

府内就職促進に向けた取組み

Q 富田 武彦

新しい大阪公立大学において学んだ学生が大阪に愛着を持ち大阪で働きたいという意識を醸成するよう講義をぜひ同大学で実施すべき。どのように取組んでいくのか伺う。

A 府民文化部長

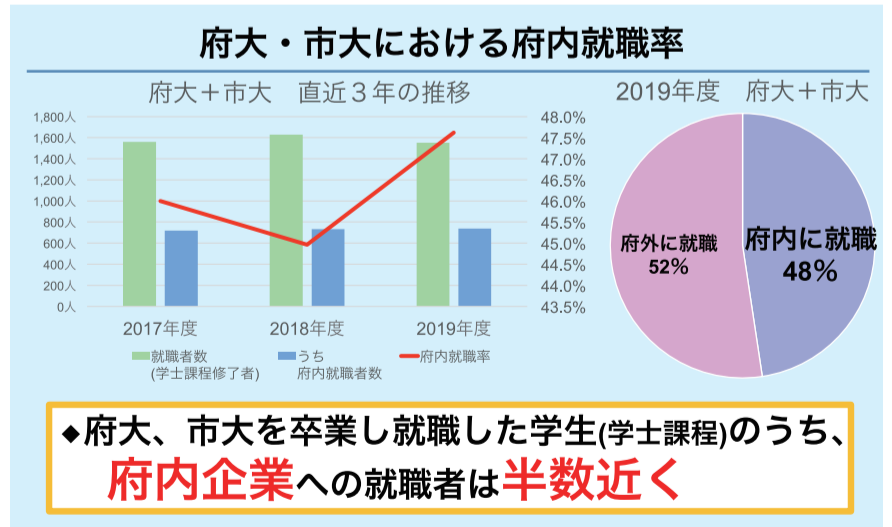
法人から国に本年10月に行った新大学の認可申請においては、1・2年次の基幹教育科目に「大阪学」という科目区分を設定し、「歴史のなかの大阪」、「関西文学論」、「大阪の都市づくり」など6科目を実施することとしている。新大学で学んだ学生が大阪に愛着を持ち、卒業後も大阪の成長・発展に寄与したいという思いを育めるよう取り組んでいく。

Q 富田 武彦

地元志向などの高まりに伴い、UIターンや地元への転職希望者が急増している。府として、UIターン就職・転職をどのように図っていくのか伺う。

A 商工労働部長

今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、WEBによる合同企業説明会の実施や企業情報の発信、大学の広報誌に大阪への就職を呼びかける記事を掲載する等、様々な媒体を活用した広報を展開。東京圏からの転職を希望する社会人が増えていることから、民間人材紹介会社との連携や、厚生労働省の社会人向けサイトを活用し、大阪の企業情報やマッチングイベント等の情報を提供していく。



大阪市南部エリアの更なる発展

要 望 富田 武彦

大阪市南部はなんば、天王寺、阿倍野を中心に、北大阪と南大阪との結節部分を成す、府域全体のネットワーク形成における要の地。府市連携による都市力向上の取組みにおいて、「選択と集中」により大阪市北部エリアがどんどん発展していく中で、市南部エリアについてはそのポテンシャルを活かしきれていないように感じる。大阪府域全体の成長に向け、大阪市南部のポテンシャルを今一度意識いただき、取組みを進めていただくよう要望する。

府政に関する相談やお問合せは

富田 武彦 事務所まで

〒546-0043
大阪市東住吉区駒川2-1-41
TEL (06) 6709-5551
<http://www.hstomita.jp>